

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鶴見

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	7	0	・個別は小部屋をローテーションして使用し、より広く使えるようにしています。 ・小集団は、種目に応じて2名ずつ活動するようにするなど工夫しています。	・今後もお子様が安全に療育ができるよう、努めていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	0	・人員配置基準を満たしています。	・適切な配置人数のため、引き続き支援の充実を図ります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	・身支度から入室までの流れがスムーズにいく導線にしております。 ・床のテープや足マーク等の視覚補助で、お子様の使用するスペースや立ち位置がわかりやすいようにしています。 ・待合室に掲示物を貼り出しています。	・玄関前が狭く、バギー等の利用でご不便をおかけすることがございます。玄関外にバギー置き場を設置しています。 ・手洗い前の段差は、必要に応じて介助しております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	7	0	・毎日昼と営業終了後に、床や療育道具、洗面所等の清掃を実施しています。	・今後も清潔な環境を保てるように、継続してまいります。
適切な支援の内容	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	7	0	・ケース会議を実施しています。	・今後も引き続き実施していきます。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	・毎年保護者の皆様にアンケートをお願いし、いただいた意見を把握し、可能な限り改善に努めています。	・職員間で相談し可能な限り改善することで、皆様にとってよりよい場所になるよう努めます。 ・日頃から保護者の皆様のご意見を聞けるように、コミュニケーションを取り信頼関係の構築に努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	・スタジオそらのホームページ内に掲載しております。	・今後も引き続き実施していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	・現在、外部評価は実施しておりません。	・必要に応じて、検討いたします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	・社内、スタジオ内、どちらでも研修を実施しています。	・今後もよりよい支援の為、引き続き実施していきます。
業務改善	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・支援計画更新前に、アセスメントを実施しています。 ・支援計画の更新の時期に聞き取りを行っています。面談時にもご要望をお聞きしています。	・フィードバックの際等にいただいたお言葉も大事にしなが、お子様に合った支援計画の作成に努めます。支援計画更新時以外でも保護者様のご希望に応じてお話を聞く機会を作っていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントシートを使用している	7	0	・社内のアセスメントシートを使用しております。	・今後も引き続き実施していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	・運動・学習・生活の項目に大きく分けて選択し、具体的な支援内容を設定しています。	・今後も引き続き実施していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	・支援計画に沿った内容が行えるように、日々の打ち合わせの中で確認しています。	・今後も引き続き実施していきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	・毎朝打ち合わせを行い、どのような活動がよいか検討しています。	・今後も引き続き実施していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	・毎朝打ち合わせを行い、なるべく活動や担当する先生が固定化しないように工夫しています。	・今後も引き続き実施していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成している	7	0	・基本的には個別療育を実施しています。プログラムの内容やお子様によっては、療育士の人数を増やしたり、他児と一緒に行うなど複数人の活動を実施しています。	・必要に応じて、集団活動の実施を検討していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・毎日朝・昼に打ち合わせを実施しています。 ・その日いらっしゃるお子様の最近の様子を含め、情報共有をしています。	・今後も安全且つより良い支援ができるように、引き続き実施していきます。

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	・その日の療育の終了後に打ち合わせをし、担当した療育士が振り返りを行っています。 ・適宜、職員全員で今後の支援について検討しています。	・今後も安全且つより良い支援ができるように、引き続き実施していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・療育終了後には必ず記録を取り、次回以降の支援につなげるようにしています。	・今後も引き続き実施していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	・半年に1度、支援計画の更新のタイミングでモニタリングを実施しています。	・今後も引き続き実施していきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	・主に児童発達支援管理責任者が参画しています。	・今後も参画した会議の内容をスタジオ内職員に報告し、情報共有を継続していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	・必要に応じて機関に繋げるようにしています。	・今後も必要に応じて支援いたします。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2	・現在該当するお子様がいらっしゃいません。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	3	・現在該当するお子様がいらっしゃいません。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	・必要に応じて対応しています。 ・主に保護者の方から情報を共有してもらっています。	・必要に応じて、今後も対応していきます。 ・共有していただいた情報をもとに、引き続き相互理解を図っていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	・就学支援シートの作成も、保護者のニーズに応じて行っています。	・保護者の皆様からのご要望に応じて、今後も対応していきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	6	・年2回、事業所連絡会や研修会に参加しています。	・今後も継続して参加します。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7	・現在、交流の機会はありません。	・ご要望がございましたら、検討していきます。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2	・年2回、事業所連絡会や研修会に参加しています。	・今後も継続して参加します。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	・毎時間、フィードバックの際に保護者の方とお話しする機会がございます。	・今後も継続して配慮していきます。
保護者への説明責任等	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4	・必要に応じて、家庭でできる内容や対応を個別にお伝えすることもございます。	・今後も保護者の皆様と丁寧にコミュニケーションを取りながら支援していきます。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	・契約時にご説明しています。	・今後も継続していきます。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	・支援計画の面談の際に支援内容に関してご説明し、同意をいただいています。	・今後も継続していきます。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・フィードバックや面談の際に相談をお受けし、助言や支援を行っています。	・今後も保護者の皆様からのご相談に真摯に向き合っていきます。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	・現在実施しておりません。	・必要に応じて検討していきます。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	・面談希望のシートを待合室に置き、保護者の方がより相談しやすいように環境を整備しています。 ・ご相談事があった際には、なるべく迅速に面談の時間を設け助言や支援を行っています。	・今後も相談しやすい関係性・環境作りに努め、相談や申し入れに対して適切に対応していきます。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	・毎月「そら通信」を発行し、待合室に掲示しています。	・今後も継続していきます。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	・個人情報は鍵のかかるキャビネットの中で保管しています。 ・メールでの一斉送信では、他の会員様のアドレスがわからないようにしています。	・今後も継続していきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・絵カードなどを使用し、お子様にとって分かりやすい提示の方法を考えて実施しています。	・今後もよりよい方法を模索し、実施していきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	・例年よりコンサートを実施しています。(昨年、本年は実施できていません。)	・地域の中での交流の機会を大事にし、開かれた事業運営を目指します。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	・各種マニュアルを待合室に置き、いつでも見ただけのようにしています。 ・全てのマニュアルについて、全職員が研修を受けています。	・今後も定期的に研修を実施していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・年2回、避難訓練を実施しています。	・緊急時にも速やかに避難できるように、今後も避難訓練を実施していきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	・発作対応シートを記載してもらい、対応のフローを確認しています。 ・服薬や持病について記載するフェイスシートの提出をお願いしています。	・今後も対象児童について、情報・対応方法について、保護者の方と連携を取りながら情報共有に努めます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	・イベント等で食育プログラムを実施する際には事前にメールや口頭でアレルギーの有無を保護者の方に確認しています。	・今後も食育実施の際には聞き取りを行っていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	・日々の打ち合わせで前日、当日のヒヤリハットを報告・共有しています。職員内で事案を共有し解決方法を考えたものを報告書に記載しています。	・今後も継続していきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	・虐待防止に関する研修を実施しています。	・今後も継続していきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	・契約時に説明をし、了解を得ています。対象児童はいません。	・対象児童がいる場合には、適切な対応ができるよう努めます。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。